

新たなシティセールス戦略 『羽島市アンバサダー』制度

SNS 特化型の広報手法 関係人口増加に寄与

◇アンバサダー制度

アンバサダーとは？

「アンバサダー」は英語で「大使」という意味があります。特定ブランドのイメージを高める、キャンペーンの象徴として世間の注目を集めるといった「広報・宣伝」の効果を狙うため、企業や行政から任命されるケースが多いです。

一般的なアンバサダー制度

多くの地方自治体では、市の魅力発信、知名度の向上、イメージアップを目的として、「〇〇市アンバサダー」との呼称で制度化されています。概要は次のとおりです。

- ①地元出身の芸能人をアンバサダーに認定
- ②各種イベントに招待することで来場者が増加
- ③マスコミに報道され、自治体の知名度が向上

◇羽島市アンバサダー制度案の特徴・認定基準

羽島市アンバサダー制度の特徴

羽島出身の有名人をアンバサダーに任命

- 羽島市出身の芸術家、スポーツ選手・エンターテイナー、観光分野のインフルエンサー、タレントが羽島市アンバサダーに就任しています。

アンバサダーの SNS で特産品等の情報を発信

- 市の特産品やイベント情報をアンバサダーに送付し、SNS で発信してもらいます。(情報発信主体の多様化) 市公式 SNS を大幅に上回るフォロワーが存在すれば、情報の発信力も高まります。

新しいファン獲得 市に関心を持つ関係人口が増加

- 羽島市を知らなかった人にも情報を届けることができ、特産品の購入・来訪等が期待されます。

認定基準

顕著な功績・知名度

特定分野において顕著な功績があり、新聞・テレビ・雑誌等での露出が多く知名度があること。

SNS のフォロワー数

Twitter、Facebook、Instagram、Youtube のフォロワー数が多いこと。数千～万単位のフォロワーを有することが期待される。

将来展望（産業振興）

企業案件への対応

自社製品等を PR したい市内企業等にアンバサダーを紹介する。
(当事者間で条件等を調整・合意が得られれば企業は広告料を負担)

アンバサダーの活用で情報発信力を強化 / 特産品の販売促進・イベントの集客増

